

Vol.4
信頼を礎に、新しい政治を。

Next

ARAKAWA

自民党プレス

どんな事も私たちにお気軽に
相談してください。



もぎ弘



北城さだはる



斎藤やすのり



なみき一元



明戸まゆみ



すがや元昭



鎌田みちてる



夏目亜季



西川こうへい



若林ゆき



どばしけいこ



過去最高額の予算決定！1,319億円！

荒川区では2月26日から予算特別委員会が開かれ、令和7年度予算案に対して、集中審議が行われました。前年度比100億円増となる1,319.3億円の過去最大予算額となりました。「新時代のあらかわへ！区民とともに荒川区の未来へつなぐ予算」と銘打たれた本予算案は、自民党荒川区議会議員団が昨年11月に区長宛に提出した予算要望を多く盛り込まれたものとなっており、来年度の効率的な予算執行を期待して、予算案に賛成をしました。今回は、令和7年度の予算の内容を一部抜粋してご紹介致します。

あらかわ最新NEWS

第19回尾久の原公園 シダレザクラ祭りについて

今年のテーマは「シダレザクラの園からSDGsを発信～私たちにできることを考えよう～」SDGsにまつわるクイズ大会、間伐材を使った木工教室、廃食油から航空燃料を作るVR体験など、様々なコーナーを設けます。ぜひお越しください。

日時:令和7年3月29日(土)

午前10時～午後15時

※雨天中止。

会場:都立尾久の原公園(東尾久7-1)



あらかわ遊園XR観覧車再開！

昨年イベントで実施し、大好評だったXR観覧車を令和7年3月12日(水曜)よりレギュラー化してスタートします！最新のXR技術を用いた世界初のXR観覧車をお楽しみください。

運行日:毎週水曜、土曜

運行時間:正午～午後16時

利用料金:中学生以上400円、小学生200円

利用条件:8歳以上利用可 ※小学生の利用には保護者の同意が必要。



自民党荒川総支部 

03-3802-4625

〒116-8501 荒川区荒川二丁目2番3号 5階 自民党控室

<https://www.arakawajimin.jp/top.html>

自民党 Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

HP 



荒川自民党LINE



令和7年度 予算に関する 特別委員会が 開催されました

議長・北城さだはる議員



委員長・夏目亜季議員

子育て

- 区立小学校・特別支援学校に通う児童生徒の保護者負担の軽減
(一部補助教材費用や遠足等の参加費、修学旅行、清里・下田の移動教室、下田臨海学園、卒業アルバムの購入費用の無償化を実現)
・・・5億4,923万円

福祉・健康

- 生後6ヶ月から中学3年生までの子どものインフルエンザ予防接種費用を無償化
・・・9,304万円
- 高齢者のインフルエンザワクチン接種費用を無償化
(65歳以上のワクチン接種費用の無償化、区内の医療機関のほか東京の関係医療機関でも無料で接種可能へ)・・・1億8,386億円

防災

- 分譲マンションの防災力向上を推進
(防災マニュアルの作成や防災訓練の実施のためのコンサルタントを無料で派遣、エレベーターの改修工事や携帯トイレなどの共同備蓄品購入費用の一部補助、止水板設置費用の一部補助)・・・6,054万円

産業経済

- 中小企業支援のための、新たにマル系融資の利子補助を実施

マル経融資の当初3年間の利子を対象に補助を実施(融資限度額2,000万円、補助期間当初3年間、補助率事業者負担利息2分の1)・・・3億5,085億円

各アプリ機能の強化

- 健康アプリに、健康行動に応じたポイント付与機能を追加、GPSを活用したスタンプラリー等、内容の充実
・・・(2,105万円)
- 防災アプリにマップ上での防災情報の確認や、緊急ホイッスル機能の追加
・・・(1,468万円)
- 心の健康観察アプリを導入し、いじめや不登校の早期発見、体調や気持ちの変化をデータ化し個別の支援へ
・・・(365万円)

街づくり

- してはいけない公園からできる公園へ
(焚き火、キャンプを体験、宮前公園の一部をボール遊び専用エリアとして整備、手持ち花火ができる親子花火ひろばを5園以上に設置予定、荒川自然公園にキッチンカーを出店)
・・・1,782万円



総括質疑・なみき一元議員

高齢者のフレイル対策について

介護保険料の上昇を抑えるためにも介護予防フレイル対策が重要となる。昨年度から実施されている、柔道整復師会と連携した介護予防講座の拡大を求める。

ゼロカーボンシティに向けて

本庁舎や小中学校の建替えが予定されている荒川区では、新たな施設には、ZEB認証を目指していくべき。また、10月からプラスチック回収の区内全域実施が行われるが、リチウムイオン電池やエアゾール缶といった発火源となり得るものが混入しないよう、分別方法の周知と対策の徹底を要望する。